



## 最新情報Ⅱ

太成学院大学 教授  
九州工業大学 名誉教授  
西野 和典

「最新シリーズ」は、実教出版のスタンダードな教科書として、長年多くの高校でご使用いただいております。この度、『最新情報Ⅱ』を新刊として発行する。

### 1. 本書の特長

- (1) 情報Ⅰの各種教科書から、スムーズに情報Ⅱの学習へと進むことができる。
  - ▶ 適宜、本文に情報Ⅰを振り返る内容を入れ、情報Ⅱの学びに繋がるように工夫した。
  - ▶ 本書を学ぶことで、情報Ⅰの理解がさらに深まるようにした。
- (2) ベストセラー「最新情報Ⅰ」の構成を踏襲し、親しみやすく情報Ⅱを学ぶことができる。
  - ▶ 難しい概念を羅列するのではなく、生徒が例題を行いながら、体験的に基本的知識や技能を習得できるようにした。
- (3) 情報Ⅱの内容を、ポイントを押さえながらやさしく学ぶことができる。
  - ▶ わかりやすい本文、身近な例題、効果的に配置したイラストや図解など、興味を持って学べるように工夫した。

### 2. 教科書の構成

『最新情報Ⅰ』と同様に、一つの学習項目を見開き2～4ページ（一部6ページ）でまとめ、どの学習項目でも、「導入」→「本文」→「例題」→「確認問題（適宜）」の構成で統一して、授業や生徒の自学自習を行いやすくした。

- ① 導入（学習のねらい）  
問いかけを行い、学習を誘導する。
- ② 本文（学習内容の説明）  
図表やイラストをふんだんに使って、学習内

容に関する理解を促進する。

- ③ 例題（本文で学んだ内容を活用した課題解決）  
身近な課題を扱い、思考・判断・表現する活動を通じて知識・技能を定着させる。
- ④ 確認（確認問題やコラムで理解の定着・深化）  
学習項目に合わせて、確認問題や「+α」「参考」「生活とのつながり」などのコラムを配置し、理解を深め興味を喚起している。

章末には、日常生活に関連した探究課題「Practice」（各章2テーマ）を置き、探究の手順を示してわかりやすく解説している。

### 3. その他の工夫点

- (1) QRコードを配置し、教科書の内容を補足する動画やアニメーション、資料（PDF）、Webページを閲覧できるように工夫した。また、4章3節の例題で取り上げる「日程調整システム」は、実教出版のWebサイトで実際に試用することができるようにした。
- (2) 巻末資料には、プログラミングの概要（JavaScript, Pythonほか）を置き、情報Ⅰのプログラミングを復習し、4章で行う情報システムの開発で参照できるようにした。また、統計に関する基礎知識を置き、データサイエンス（3章）の学習で参照できるようにした。

今後、本書に対応する教材（学習ノートなど）、指導書や指導用データ、年間指導計画などを提供し、教えやすく学びやすい環境づくりに努めていく。

表1 本書の章立て（ ）内は該当ページ数

1章 情報社会と情報技術 (24)
2章 コミュニケーションとコンテンツ (34)
3章 データサイエンス (42)
4章 情報システムとプログラム (42)
巻末資料：プログラミングの概要（JavaScript, Pythonほか）、統計に関する基礎知識等 (20)